

高速道路建設促進 に関する緊急要望

全国高速自動車道市議会協議会は、別記のとおり高速道路建設促進に関する緊急要望を提出いたしますので、政府並びに国会におかれましては、特段のご配慮を賜りますよう強く要望いたします。

平成23年12月6日

全国高速自動車道市議会協議会
会長 妻鹿常男
(高松市議会議長)

ミッシングリンク解消と

高速自動車国道は、流通や観光などの経済効果によって各地方が個性豊かで活力に満ちた地域社会を実現するための重要な社会基盤であり、震災等災害時における救援、復旧活動のための緊急輸送及び広域救急医療に資する「命の道」である。

また、高速道路はミッシングリンク（未開通区間）が解消されてこそ、その効果を最大限に発揮するものである。既存の高速道路の有効的な活用を促すためにも、高速道路ネットワークの早期整備を図ることが喫緊の課題となっており、これらに必要十分な整備財源を確保することが重要である。

記

1. 高速自動車国道を中心とした高規格幹線道路網の整備は国土建設の要であり、その政策の明確な方向性を示すとともに恒久財源の確保に万全を期すこと。また、高速道路と一体となって道路交通体系を成す地域高規格道路の整備についても所要の予算を確保すること。

4 車線化は地域の願い！

2. 地域の自立支援や観光振興などに資するよう、ミッシングリンク（未開通区間）解消のための必要十分な予算を確保すること。
3. 第4回国土開発幹線自動車道建設会議（平成21年4月）で決定された新規事業と4車線化事業については、所要の財源を確保のうえ早期に着工すること。
4. 国土交通省の高速道路のあり方検討有識者委員会において作業が行われている高速道路の料金制度等については、利用者の混乱と不信を招かないよう、その道筋を早期に示すとともに、国土の均衡ある振興・発展を阻害しないためにも、本州四国連絡高速道路等を含め全国一律とすること。
5. 社会実験を凍結中の高速道路の原則無料化については、受益者負担の原則や所要財源のほか、公共交通体系全体への影響、交通渋滞、環境への負荷などを総合的に勘案し、引き続き慎重に対応すること。